

ゆきしろみず



「東通村のわらしと語ろう会2010in浮間小学校」の様子



物揚場工事状況



ゲート通過するか緊張の瞬間



自分たちで切ったそばで昼食

主な内容

- 特集 準備工事の状況をお知らせいたします2
- シリーズ第9弾 働く人がよく見える発電所「立地地域グループ」.....3
- 特集 インタビュー「私、東通村出身です。いま頑張っています!」.....4
東し滋賀ボート部 監督 北川健雄さん
- まさか半島豆知識「ゆきしろみずミニミニクイズ」.....5
- 村民の笑顔6
電気のふるさと東通村と電気の消費地との交流事業
東通村のわらしと語ろう会2010in浮間小学校
- 盛り上がった地域イベント参加報告7
東通村春季ゲートボール大会
東通村植樹祭
- 東京電力の取り組み7
国道338号の清掃活動を実施しました。
- 読者の声8



東京電力

東通原子力建設準備事務所

Vol.22
夏号

2010.6.30

自分たちで切ったそばで昼食

準備工事の状況をお知らせいたします

陸上工事

現在、敷地造成工事(その2)、水処理設備基礎工事、本館建屋周辺整備工事、機械装置基礎工事を継続しています。また、4月から3月末に出来上がった水処理建屋内で、ろ過装置等を設置する水処理装置設置工事を開始しました。

- 敷地造成工事(その2)では、コンクリート製造施設を設置する場所の造成工事を行っています。
- 水処理設備基礎工事では、川の水をろ過装置等でろ過した水を貯蔵するタンクの基礎工事を行っています。
- 本館建屋周辺整備工事では、原子炉建屋やタービン建屋等の周辺を海拔10mの高さに整地するのにあわせて必要な壁の構築を行っています。
- 機械装置基礎工事では、発電した電気を送電するための送電線や配管を通す地下のダクト等を構築するために掘削を行っています。



本館建屋周辺整備工事状況

港湾工事

現在、防波堤工事、物揚場工事、敷地護岸工事、港内しゅんせつ工事、冷却水路屋外諸基礎工事を継続しています。

- 防波堤工事では、防波堤の上部構造物の構築等を行っています。
- 物揚場工事では、大型の資機材等を荷揚げするための物揚場および物揚場への連絡路の構築を行っています。
- 敷地護岸工事では、敷地と海との境界となる壁の構築を行っています。
- 港内しゅんせつ工事では、港内の海底の土砂を必要な深さまで取り除く工事を行っています。
- 冷却水路屋外諸基礎工事では、発電に使用した蒸気を冷やした冷却水(海水)を放水する放水路のうち陸域の地下水路を構築するために掘削を行っています。



物揚場工事状況



H22.6月の全景

お知らせ

東京電力(株)東通原子力建設準備事務所では、平成19年度より建設工事中の環境監視の調査を行っています。

平成21年度の調査の結果として「大気質」、「振動」、「水質」につきましては、環境基準値・管理目標値に適合していました。

「騒音」につきましては、横浜町家ノ前川目とおつ市金曲の2箇所において道路交通騒音が環境基準値を超えていましたが、工事着手前の調査結果と同等の値でした。

「地形及び地質」、「陸域に生育する植物」、「海域に生育、生息する動植物」につきましては、平成19年度、20年度と比較した結果、大きな変化はありませんでした。

以上の結果より、発電所建設工事が周辺環境に与える影響は、現時点では小さいものと評価いたしました。

調査結果の詳細につきましては、「東通原子力発電所1・2号機新設に係る 環境監視調査結果報告書」(平成21年度)として、トントウビレッツ内の原子力情報コーナーにて閲覧が可能です。



立地地域グループ

私たち立地地域グループは、建設を進めている東通原子力発電所と地域の皆さまとの結びつきをより強くするとともに、地域の皆さまから安心・信頼いただける原子力発電所を目指し、日々活動しているグループです。メンバーは水戸グループマネージャーをはじめ7名で構成されています。



私たち、立地地域グループメンバーです!?

東通村や六ヶ所村などの地域のイベントに所員とともに参加し、地域の皆さまが喜んでいただけるミニゲームなどを通じて、地域の皆さまとのコミュニケーションを図りながら、互いの結びつきや信頼関係を強固にしていくためのパイプ役として活動しています。

また、地域の皆さまのお宅を訪問して準備工事状況のご説明や、準備工事現場を実際にご見学いただき、ご理解を深めていただけるような活動を行っています。

私たちは、原子力発電所を受け入れていただいた地域の皆さまへの感謝の気持ちを忘れずに人と人との繋がりや結びつきを大切に、東通原子力発電所と、ここで働く職員が地域の一員として、地域に溶け込み、地域と共に歩んでいけるよう、ハートトゥハートで業務を行ってまいりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



水戸グループマネージャー



東通村産業まつりに参加



泊地区公民館祭に参加



地域事務所を訪問



地域の皆さまの見学会

お断り

「ゆきしろみず」春号において、今回の掲載は『機械電気グループ』とご案内いたしましたが、内容を変更させていただきました。

「私、東通村出身です。
いま頑張っています!」



東レ滋賀ボート部 監督 きたがわ 北川 たけお 健雄さん(42歳)

日本一を目指す 選手の夢を叶えるのが、私の役目!!

ボート競技の名門チーム・東レ滋賀ボート部。監督として選手たちを率い、勝利へと導いているのが東通村小田野沢出身の北川健雄さんです。

北川さんとボートとの出会いは、田名部高校進学さかのぼに遡ります。

「中学時代は野球部だったんですよ。ピッチャーで4番。高校に入ってすぐに野球道具一式を買い、硬式野球部の練習を見に行こうとした時、先輩に呼び止められ田名部川に連れてかれたのがきっかけです」



エースで4番だった頃の中学生時代



高校時代の北川監督

顧問の先生に、野球道具を買ったからボート部には入れないと話すと、先生は自らスポーツ店に用具を持参し返品。「入れない理由がなくなっしまい、入部しました」と北川さんは笑う。当時、身長180cm、体重70kg、ボート選手には魅力的な体格。田名部高校ボート部は、県内でもトップクラスのチームだったのです。

はじめは自宅からスクールバスで通っていましたが、それでは本格的に練習ができないと、おつ市内に住む姉のアパートへ。「めちゃくちゃ練習した」と振り返ります。

全国大会でも2位だった青森高校になかなか勝てず、ずっと県内で2番目だったが、3年の最後に青森高校を破って全国大会へ出場。

「自分たちも全国で2位になれると思って臨んだら惨敗。結果だけが不完全燃焼でした」

卒業後は専門学校に進む予定が、先輩の推薦で東レへ入社。その年、東レ滋賀ボート部は日本一に輝き「みんな手足も長く、カッコ良かった」と印象を話します。東レの場合、8人で漕ぐエイトがレギュラー。若手や準レギュラーは4人漕ぎと2人漕ぎ。レギュラー争いは熾烈しりつで、ようやくレギュラーの座を射止めたとき、チームの成績は一番底。結婚して生まれた子どもが病弱だったこともあり、22歳の若さで引退を決めたのです。



東レボート部の選手時代

現役を辞めて2、3年はボートを一切、見に行かなかったそうです。その後、監督が交代する時マネージャーに**はってき**抜擢され、退部から5年後の勝てない時期に、なんと選手達からの強い要望で監督に就任しました。まだ20代のことでした。

「優秀な選手がいる中、半レギュラーだった自分が監督には不向きと思いましたが、弟達のような選手からお願いされると断れなかったですね」

監督として北川さんが最初に取り組んだ改革は、外部からコーチを入れること。ボートはこう動くもの、という技術面を基礎から学ばせました。次に挑んだのは精神面。東レボート部はどうあるべきか、プロに近い存在なら誰もが憧れるチームになるよう導きました。

「夢は誰にでも語れるんですよ。でもそれを目標とし実現させるには大変なこと。目標に向かい、今選手たちがやるべきことを明確にしていきました」

選手15人、スタッフ6人、練習は夕方5時半から8時まで。仕事を終えてからの練習はとてもハードでしたが、努力の結果、就任2年目で見事日本一の栄冠を勝ちとる事が出来ました。

「思ったよりも早く結果が出ました。純粋に勝ちたい気持ちで、うまく結果に結び付いたのだと思います。だけど自分は選ばれた人間でもなく、1人で何かできる訳でもない。ただ真っすぐ自分を信じてついて来てくれた選手たちの心意気が、何より嬉しかったです」



練習を見守る北川監督

現在、ボート部には青森県出身者(むつ工業高校)1名も所属している。

「時々帰るふるさと東通村は、妙に落ち着くし、やっぱり空気が合い、大好きですよ。ボート競技はスーパースターはいらない、みんなで力を合わせたら勝てる競技。陸上では味わえないスピード感と風を切る爽快感を、ふるさとの子どもたちにも教えてあげたいと思っています。そのためにはもっともっとチームが強くなって、オリンピックでメダルを取れるような選手を育てて行かなくてはね」

静かに秘めた想いを語ってくれました。



ミーティング風景

まさかり半島
豆知識

ゆきしろみずクイズ

東通村の特産品の1つであるホタテ。

その漁がいよいよ盛んになっております。

東通村のホタテ貝は、荒波にもまれ貝柱が大きく、身がしまっていて刺身はもちろん、焼いても煮てもどんな料理にしてもとっても美味しいですよ。

さて問題ですが、今が旬のホタテ貝は1~3の何番でしょう。

〈ヒント〉
扇型の形をしています。



応募方法

答えがわかった方は折込ハガキに解答をご記入のうえご応募ください。正解者の中から抽選で『東通村産品詰め合わせ』または『東京銘菓詰め合わせ』をそれぞれ5名(合計10名)の方にプレゼントいたします。

ご応募は、お1人さま1通を有効とさせていただきます。

●応募締切:平成22年8月31日(火)

当日消印有効

クイズの回答は、次号に掲載します。

春号の答え



マルバマンサクは**③**でした!

※応募総数55通のうち53名が正解でした!

個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本広報誌関連の使用を目的とし、第三者に開示・提供することはありません。



電気のふるさと東通村と電気の消費地との交流事業

東通村のわらしと語ろう会 2010 in 浮間小学校

電気のふるさと「東通村」を、電気の大消費地である首都圏で紹介する取組みとして、「東通村のわらしと語ろう会2010in浮間小学校」が6月12日、東京都北区浮間小学校で行われました。

「東通★東風塾」と「東通村商工会」が主催し7年目を迎えた今年は、初年度に交流した入口地区から「わらし(子ども)」8人と



東通村を紹介するわらしたち

「東通★東風塾」顧問の越善靖夫村長、東京・東北各電力の職員2人を含む塾生21人の総勢29人が浮間小学校を訪問しました。

東通のわらし達は、6月11日から6月13日まで浮間小学校PTAの4家庭へホームステイし、東京と東通村の生活の違いや地域の特色を体験。ちょっぴり緊張しながらも、ホームステイ先の家族との交流を図りすぐにとけ込んでいました。

12日の浮間小学校の体育館では5年生57人と東通のわらし達が一緒に東通そばのそば切りを体験しました。はじめに、そば作りの達人・相馬かづさんがそば打ちを披露すると、その素早さと、そば粉がまとまる技術、手際良さに一同びっくり。

そしていよいよそば切りに挑戦です。そばの生地をきれいにのし、^{たた}畳んだ上にこま板をのせ、はじめて見るそば切り包丁を手に、ゆっくりとそばを切り始めました。みんな表情は真剣そのもの。切る幅がなかなか揃わず悪戦苦闘しながらも、すべて切り終えると初めてのそば切り体験に

感激です！

昼食は、自分たちが切ったそばを茹でてもらい、ざるそばにして試食。東通米で作ったおにぎりも一緒に食べ、



上手に切れるかな

浮間小学校の子ども達と不揃いのそばを笑いながら、和やかに交流を深めていました。

また、会場では東通村のミニ物産展も開かれ、浮間小学校の子ども達が販売員となって東通村の特産品を販売。これまでの交流事業を通じて浮間小学校では、昨年度から学校給食に東通産の米や野菜等を積極的に取り入れ、安心して食べられる東通産品が流通されるようになりました。

東通★東風塾メンバーは「交流事業の重要性を再認識しました。これからも電源地域と消費地交流を継続していきます」と決意を語っていました。



自分たちで切ったそばで昼食

なお、7月23日から7月25日には、浮間小学校の子ども達が来村し、ホームステイを通じて交流を深める予定です。



ミニ物産展オープン



みんな笑顔で東通大好き！

東通村

東通村春季ゲートボール大会

(平成22年5月20日(木))

5月20日、「東通村春季ゲートボール大会」が開催され、当所チームも参加しました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、6チームが参加、午前中は予選リーグ戦、午後から決勝トーナメント戦を行いました。当所チームは決勝戦に勝ち上がり、接戦の末、何と優勝を果たすことができました。

今後とも、地域の一員として、地域の行事に参加しながら地域の方々との交流を図っていきます。



みんな強者揃いです!



ゲート通過なるか緊張の瞬間



強豪揃いの中、優勝!!

東通村

東通村植樹祭

(平成22年6月19日(土))

6月19日、東通村尻労地区の尻労共有林において東通村植樹祭が開催され、当所所員および協力企業の方約20名が参加しました。

当日は村内の小学生をはじめとする約250名の参加者とともに、用意された631本の苗木(当所もブナの苗木20本を寄贈)を皆が協力して植樹しました。

今後とも、東通村の豊かな自然を守り育てる活動に参加していきたいと思えます。



みんなて植樹



当所と協力企業の参加者



オオヤマザクラを植樹する四方所長



植樹後の記念の一コマ

東京電力の取り組み

国道338号の清掃活動を実施しました。



安全を配慮しながら実施

4月21日、当所所員および協力企業の方約70名が参加し、国道338号の清掃活動を実施しました。

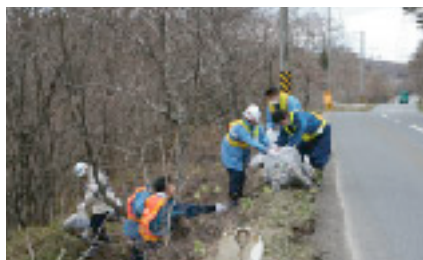
国道沿い約3.5kmを8~10人のグループに分かれ清掃活動を実施し、回収したゴミの量は、45リットルのゴミ袋で可燃ゴミ30袋、不燃ゴミ40袋にもなり、その他にテレビ3台など家電製品廃棄物も回収しました。

時折日差しが指す天候のなか、行き交う車に注意しながら清掃活動を実施し、参加者からは「きれいになって気持ちがいい」、「ゴミが多くてびっくり」などの声がありました。

今後とも、地域の一員として、東通村の美しい自然を守っていくための取り組みを継続していきたいと思えます。



開始前に注意事項を説明



国道沿いには多くのゴミ



グループに分けて清掃活動



一つのグループで拾ったゴミの量



VOL21春号にお寄せいただきました読者の皆さまからのご感想やご意見をご紹介します。

[東通村 Sさん]

『村民の笑顔』のコーナーでは、子供達が郷土芸能を頑張って練習している姿を見てすごいなあと思いました。若い子供達がこれからの郷土芸能を受け継いで欲しいと思います。

[編集室より]

取材を通していつも感じているのは、どこの地区でも郷土芸能を継承して行こうと自分の時間を割いて子供達に教えている指導者の方と、その期待に応え、時には厳しくても楽しみながら指導を受けている子供達の姿に感銘を受けています。

[六ヶ所村 Sさん]

東通村は子供からお年寄りの方までチームワークがとてもとても良いところだと思いました。私は、六ヶ所村泊に住んでいますので東通村のイベントには母とよく参加

しています。これからも、楽しみにしています。

[編集室より]

六ヶ所村でも郷土芸能の伝承や伝統的なお祭りが数多く開催されていると思います。

これからも六ヶ所村をはじめ東通村のイベントに、是非、遊びに来て下さいね。

[東通村 Sさん]

工事の様子とか色々わかりやすいですね。子供会の活躍も素晴らしいですね。今後の芸能も子供達に頑張ってもらいたい!!と思います。

[編集室より]

現在、準備工事については、皆さまのご理解・ご協力のもと順調に進めております。

その工事の状況について、写真や文章を分かりやすく表現させていただきますので、これからもご意見を宜しくお願いいたします。

[六ヶ所村 Yさん]

いつも、家に届くのを楽しみにしています。伝統を大切に、それが若い人達に引き継がれて活気ある東通村があるのだなあと思っています。

編集後記も毎回チェックしています。また、県外の方にも読まれているなんて素晴らしいですね。

[編集室より]

「編集後記をチェックしてる」とありましたが、文才のない私の文章で恥ずかしい限りです。VOL21では、宮城県の方からもお便りをいただきました。

旅行か里帰りでゆきしろみずを手に入れたのでしょうか？

この広報誌がきっかけで、東通村や六ヶ所村が自然にあふれ、素晴らしい村である事を知って欲しいと思っています。

[むつ市 Sさん]

久しぶりに「トントウビレッジ」に行ってきました。息子の就職の参考資料集めのために訪問し、この広報誌の存在を知りました。東通村の行事や東京電力の工事の内容等が書かれており、内容の濃い冊子でした。

[編集室より]

初めて読まれてお便りまで送っていただき大変嬉しく思っております。

トントウビレッジには、東通原子力発電所の資料は勿論、全国の原子力発電所の資料や情報誌も設置しております。

また、定期的に楽しいイベントも開催しておりますので、今後も、ご来館をお待ちしております。

お問い合わせ

東京電力株式会社

東通原子力建設準備事務所 広報グループ

〒039-4223 青森県下北郡東通村大字小田野沢字南通2-303
TEL 0175-45-7052・FAX 0175-48-2019
(月～金・平日午前9時～午後5時)

ホームページアドレス

<http://www.tepco.co.jp/nu/hd-np/index-j.html>

「ゆきしろみず」のバックナンバーは上記ホームページで全号見ることができます。

◆誌名「ゆきしろみず」とは、雪どけ水のことをいいます。雪どけ水は静かに大地に流れ入り、浸し、潤します。我々も雪どけ水のように地域に浸透し、一体となっていければという願いが込められています。

編集後記

読者の皆さま、いつも、「ゆきしろみず」をご愛読いただきまして誠にありがとうございます。また、毎号、皆さまから心温まるご感想や貴重なご意見をお寄せいただき重ねて御礼申し上げます。

お陰様で、平成17年の創刊より今年で6年目を迎えることができました。

さて、今回のVOL22から2ページ増量し、掲載内容を充実いたしました。今後も皆さまに愛される広報誌を製作していきたいと思っておりますので、ご愛読ならびにお便りを宜しくお願いいたします。

担当者 S

